

# 主要施策の成果



# 平成 19 年度主要施策の成果（一般会計）

## 議会費関係

### 1 議会開催日数

定例会	4回	会期日数	21日
臨時会	3回	会期日数	3日

### 2 付議事件数

町長提出	95件
条例	24件
予算	32件
決算	9件
その他	23件
専決・報告	7件
議員提出	7件
条例	2件
その他	5件

### 3 請願・陳情

受理件数	7件
------	----

### 4 一般質問の人数

6月	10人	9月	7人	
12月	8人	3月	10人	計35人

### 5 委員会

開催回数	・議会運営委員会	8回	（議会運営）
	・常任委員会12回	3回	総務企画常任委員会（付託事件審査他）
		5回	教育民生常任委員会（ 〃 ）
		4回	産業建設常任委員会（ 〃 ）
	・広報特別委員会	8回	（議会だより編集、「議会だより第7号～第10号発行」）
	・議会改革調査特別委員会	6回	（議会活性化調査研究）

## 6 議員派遣

行政調査：山梨県北杜市並びに市川三郷町 平成19年10月23日～24日

議員研修：町村議会議員自治研修会(宇都宮市) 平成19年11月6日

## 総務費関係

### 1 人事関係（一般職員）

#### (1) 職員数の状況

	平成19. 3. 31 現 在	平成20. 3. 31 現 在
一 般 職	256人	238人
技 能 労 務 職	28人	26人
計	284人	264人

(注)年度末退職者を除いた人数

#### (2) 新規採用及び退職数の状況

	新 規 採 用 者	退 職 者
一 般 職	4人	22人
技 能 労 務 職	—	2人
計	4人	24人

### 2 那珂川町自治功労者表彰及びシンボル発表、並びに町民憲章制定

#### (1) 自治功労者表彰

自治功労者表彰 14名

浄財寄付感謝状贈呈 1名

#### (2) シンボル発表

町花 かたくり

町木 まつ

町鳥 うぐいす

採用者表彰 15名

#### (3) 町民憲章制定

### 3 地方自治功労叙勲

#### (1)平成19年秋叙勲

荒井平氏 (旭日雙光章) 旧馬頭町議会議員

#### (2)高齢者叙勲

菊池栄治氏 (旭日単光章) 旧馬頭町議会議員

#### (3)死亡叙勲

岡進氏 (端宝雙光章) 旧馬頭町議会議員

齋藤健次氏 (端宝雙光章) 那珂川町消防団 (旧小川町消防団長)

笹沼喜一郎氏 (旭日単光章) 旧馬頭町議会議員

#### (4)特旨叙位

金子正一郎氏 (従五位) 元馬頭町長

### 4 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

#### (1)交通指導員の設置

教育指導員 1名

一般指導員 7名

#### (2)交通安全教育の実施

幼稚園・保育園児童対象 110回 4,427人

小中学校児童生徒対象 26回 1,658人

母親対象 14回 637人

高齢者対象 18回 550人

#### (3)交通安全施設の整備

カーブミラー 4基

ガードレール 75.5m

区画線 2,700m

#### (4)安全で安心なまちづくり

推進大会の開催

・平成19年10月15日 小川総合福祉センター

自主防犯団体の活動

・役場防犯パトロール隊：火曜日、金曜日、第1日曜日、及び第3日曜日の午後  
にパトロールを実施

・馬頭商工会青年部防犯隊：営業時間中にあわせて防犯活動を実施

## 5 交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、町営バス・コミュニティバスの運行内容の充実に努めた。

路線名	運行開始	年間利用客数（人）			1日平均乗車数（人）			
		H19年度	H18年度	対前年度	H19年度	H18年度	対前年度	
町営バス	馬頭大那地線	平成元年6月	9,848	10,346	498	33.5	35.0	1.5
	馬頭大山田線	平成2年6月	18,353	21,900	3,547	62.4	74.0	11.6
	馬頭小砂小口線	平成3年11月	1,599	2,327	728	5.4	7.9	2.5
	馬頭矢又富山線	平成6年4月	11,222	11,572	350	38.2	39.1	0.9
	馬頭谷川盛泉線	平成8年4月	3,121	3,499	378	10.6	11.8	1.2
5路線計			44,143	49,644	5,501	150.1	167.7	17.6
コミュニティバス	幼稚園経由北廻り線	平成16年4月	5,300	7,479	2,179	21.5	30.5	9.0
	芳井線	平成16年4月	5,492	6,426	934	15.0	17.6	2.6
	浄法寺線	平成16年4月	676	371	305	1.9	1.0	0.9
	幼稚園経由南廻り線	平成16年4月	7,892	6,752	1,140	32.0	27.6	4.4
	小梨線	平成16年4月	6,665	3,355	3,310	18.3	9.2	9.1
	小川南線	平成16年4月	933	801	132	2.6	2.2	0.4
6路線計			26,958	25,184	1,774	91.3	88.1	3.2

(注)運行日数

○町営バス ・ H18 : 296日 ・ H19 : 294日

コミュニティバス

・ H18 : 365日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は245日

・ H19 : 365日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は247日

(台風による運休 : 1日)

## 6 企画調整

### (1) 会議等の開催

まちづくりに資する計画の策定及び推進に関する事項を審議するため、町長の諮問機関である那珂川町まちづくり審議会を3回開催した。

町の基本方針・重要施策の審議のため、庁議を7回、事務事業の総合的な調整、計画的かつ効率的な推進を図るため、課長会議を20回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画に基づき、重点事務事業などの各種事業の進行管理を行った。

(3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進特別措置法により策定した過疎地域自立促進計画後期計画（平成17年度～21年度）に基づき、各種事業の進行管理を行った。

(4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

(5) 携帯電話不感地域の解消

携帯電話等の移動通信サービスの利用可能な地域を拡大し、地域間の情報通信格差の是正を図るため、移動通信用鉄塔施設整備事業を実施した。

○移動通信用鉄塔施設            2基(大内地区・大那地地区)            23,582千円

(6) まちづくり3大重点プロジェクト

「行財政改革」推進プロジェクト

那珂川町行財政改革大綱（平成17年度～22年度）及び具体的な取組項目をまとめた行財政改革推進計画（平成18年度～22年度）に基づき、行財政改革の推進を図った。

「自然・環境との共生」推進プロジェクト

豊かな自然と共生するまちづくりの実現に向け、那珂川町環境基本条例に基づき、那珂川町環境基本計画基本構想の策定に取り組んだ。

「地域高度情報化」推進プロジェクト

本町の情報化の現状について把握・分析を行い、地域情報化の基本方針と導入すべき情報通信基盤の有効な利活用法を検討するため、那珂川町地域情報化基本計画の策定に取り組んだ。

(7) その他

安全・安心なまちづくりを目指して、AED(自動体外式除細動器)をプロポーザル方式により購入し、小中学校・保育園等の各施設に設置した。

○AED(自動体外式除細動器)            39台            6,840千円

7 地域振興

(1) 土地利用調整基本計画の策定

町総合振興計画の基本構想を踏まえ、町の持つ豊かで美しい自然との共生、やすらぎのある生活や環境、生活基盤を確保するなど、当町における土地を無秩序な開

発等から守り、適正な土地利用の誘導を図っていくため「那珂川町土地利用調整基本計画」を策定した。

#### (2) 都市計画マスタープランの策定

合併後の那珂川町の新たな発展を目指して、総合的な土地利用、都市整備を図るため、本町が進むべきまちづくりの方向性を分かりやすくするために「那珂川町都市計画マスタープラン」を策定した。

#### (3) 協働によるまちづくり町民フォーラムの開催

住民と行政との協働によるまちづくりを推進していくうえで重要な、町民に対する「協働」についての意識づけを図るため、11月10日小川総合福祉センターあじさいホールにおいて「住民と行政との協働によるまちづくり町民フォーラム」を開催した。

#### (4) 協働によるまちづくり推進事業

住民と町が協働して行うまちづくり事業を促進することで、個性あふれる地域を創り、「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」としていくことを目的として、2つのまちづくり団体に対して「地域住民の協働によるまちづくり推進事業補助金」を交付した。

- ・とみやまの郷づくり会 200千円
- ・ボランティア盛谷協議会 300千円

#### (5) まちづくり懇談会の開催

都市計画マスタープラン(案)の策定内容及び協働によるまちづくりについての町民への周知及び意見を聴取するため、2月29日馬頭総合福祉センターにおいて「まちづくり懇談会」を開催した。

#### (6) 姉妹都市交流事業

##### ○滋賀県愛荘町

合併前から交流のあった愛荘町（旧秦荘町）との姉妹都市提携について、10月10日馬頭総合福祉センターにおいて盟約式を行い姉妹都市提携を行った。

また、災害時に姉妹都市として相互に助け合うことを目的として、「災害時における相互応援に関する協定書」を締結した。

##### ○ニューヨーク州ホースヘッズ村

青少年海外体験学習派遣事業で町内の中学生、高校生が交流を行っている、ホースヘッズ村との姉妹都市提携について、3月16日現地において盟約式を行い姉妹都市提携を行った。



## 8 広報・広聴

### (1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

広報なかがわ(毎月10日発行) 6,400部

### (2) 那珂川町公式ホームページの運営

「行政情報」、「観光と文化」、「公共施設」、「町のデータ」の4つの柱をメインに、町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。

### (3) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○商業統計調査：6月1日を基準日として卸売業及び小売業を営むすべての事業所を調査

就業構造基本調査：10月1日を基準日として選定された地区に住む15歳以上の人の就業・不就業の実態を調査

栃木県毎月人口調査：常住する人口を毎月1日現在で推計

学校基本調査：5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園を調査

工業統計調査：12月31日を基準日として、町内の製造業の事業所を調査

### (5) 行政事務連絡等

行政区長・班長等を委嘱し、事務執行の協力を得た。

行政区長 37人

行政班長 196人

### (6) 情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	3	—	3	—
教育委員会	2	1	1	—

○個人情報保護の運用状況

個人情報保護条例の開示請求はなかった。

9 税務

(1) 町税等収入状況

① 町税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
町 民 税	996,145,999	930,703,652	2,437,616	63,004,731	93.43
(1) 個 人	745,921,999	687,051,052	619,516	58,251,431	92.11
現年課税分	698,905,900	678,174,503	-	20,731,397	97.03
滞繰繰越分	47,016,099	8,876,549	619,516	37,520,034	18.88
(2) 法 人	250,224,000	243,652,600	1,818,100	4,753,300	97.37
現年課税分	245,138,300	242,799,000	-	2,339,300	99.05
滞繰繰越分	5,085,700	853,600	1,818,100	2,414,000	16.78
固 定 資 産 税	1,562,160,352	1,025,580,830	10,809,586	525,769,936	65.65
(1) 固定資産税	1,554,012,252	1,017,432,730	10,809,586	525,769,936	65.47
現年課税分	1,030,877,900	920,474,286	197,800	110,205,814	89.29
滞繰繰越分	523,134,352	96,958,444	10,611,786	415,564,122	18.53
(2) 交 付 金	8,148,100	8,148,100	-	-	100.00
軽 自 動 車 税	43,837,946	39,322,642	147,556	4,367,748	89.70
現年課税分	39,348,400	38,081,652	14,100	1,252,648	96.78
滞繰繰越分	4,489,546	1,240,990	133,456	3,115,100	27.64
町 た ば こ 税	131,459,681	131,459,681	-	-	100.00
特 別 土 地 保 有 税	17,700,558	-	6,491,200	11,209,358	-
現年課税分	-	-	-	-	-
滞繰繰越分	17,700,558	-	6,491,200	11,209,358	-
入 湯 税	23,303,930	19,752,770	3,523,170	27,990	84.76
現年課税分	19,767,850	19,739,860	-	27,990	99.86
滞繰繰越分	3,536,080	12,910	3,523,170	-	0.37
町 税 合 計	2,774,608,466	2,146,819,575	23,409,128	604,379,763	77.37
現年課税分	2,173,646,131	2,038,877,082	211,900	134,557,149	93.80
滞繰繰越分	600,962,335	107,942,493	23,197,228	469,822,614	17.96

国民健康保険税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
国民健康保険税	783,899,010	578,060,608	574,700	205,263,702	73.74
現年課税分	589,749,100	539,284,370	-	50,464,730	91.44
滞繰繰越分	194,149,910	38,776,238	574,700	154,798,972	19.97

③ 介護保険料 (普通徴収分)

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
介護保険料	13,187,192	10,647,632	15,255	2,524,305	80.74
現年課税分	10,511,600	9,697,500	-	814,100	92.26
滞繰繰越分	2,675,592	950,132	15,255	1,710,205	35.51

(2) 徴収嘱託員収納実績

徴収嘱託員	2人
収納額	70,012,839円

(3) 税務関係証明等

件数	4,158件
手数料	1,037,180円

10 戸籍・住民

戸籍事務は、戸籍法に基づき身分上の重要な事項を戸籍届出等により事務処理をするとともに個人の身分事項等の証明等を行っている。また、住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出による異動の事務処理と住民票や印鑑証明等の発行をしており、戸籍・住民係では、正確且つ迅速な処理を行い、住民サービスの向上と証明発行事務のスピードアップに努めた。

主な状況は、全住民リスト・人口統計資料等の整備、戸籍の届出、戸籍・住民票の謄抄本、印鑑証明、転入・転出・転居等各種届出の事務及び証明等の発行で、戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

戸籍届出等件数	1,104件（届出577件・送付527件）
---------	-----------------------

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

証明等発行件数

・戸籍関係	9,122件
・住民票	9,919件
・印鑑証明	8,128件
・その他	1,016件

11 選挙

栃木県議会議員選挙	平成19年4月8日執行	無投票
参議院議員通常選挙	平成19年7月29日執行	投票率：60.48%

12 監査委員

(1) 例月出納検査の実施

4月から各月実施	計12日
----------	------

(2) 決算審査

一般会計及び特別会計の審査期間	平成19年7月17日～7月26日
水道事業の審査日	平成19年7月26日
意見書提出日	平成19年8月20日

### (3) 定期監査

一般会計及び特別会計の監査期間	平成20年1月29日～2月8日
水道事業の監査日	平成20年2月6日
監査結果報告書提出日	平成20年2月25日

### (4) 財政援助団体等補助監査

那珂川町社会福祉協議会・那珂川町遺族会	平成19年12月20日
那珂川町敬老会実行委員会・那須南農業協同組合・那珂川町文化協会	平成20年1月21日
那珂川町老人クラブ連合会・那珂川町防犯暴力追放協会・那珂川町青少年育成協会	平成20年2月20日
監査結果報告書提出日	平成20年2月25日

### (5) 財産区特別会計決算審査

馬頭・武茂・大内・大山田財産区審査	平成19年7月18日
意見書提出日	平成19年8月20日

## 民生費関係

### 1 地域福祉

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化、また、原油高騰対策として低所得の高齢者・障害者世帯等に対する暖房用灯油の購入支援のため、次の事業を実施した。

○民生委員児童委員の設置	51名	4,117千円
社会福祉協議会の育成		29,060千円
○ぬくもり灯油券支給事業	628世帯	1,950千円

### 2 障害者福祉

障害者の自立更生と対応できる社会環境づくりを推進するための施策として、身体障害者巡回診査更生相談、障害者福祉作業所運営事業、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援等を実施した。

また、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

補装具給付	47件	2,245千円
自立支援(更生)医療	53人	4,079千円

重度心身障害者医療費助成	270人	4,951件	34,999千円
特定疾患患者見舞金	88人		4,730千円
障害者福祉作業所運営事業	社協委託		14,671千円
障害者福祉サービス事業	98人		127,277千円
○障害者地域生活支援事業	133人		17,177千円

### 3 老人福祉

高齢者の生きがいがづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

居室事業	8人		3,732千円
敬老会	20会場	1,645人	6,734千円
敬老祝金	491人		8,130千円
(80歳：259人、85歳：163人、90歳：55人、95歳：11人、100歳：3人)			
緊急通報システム装置の貸付	64件		1,311千円
ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	利用者	32人	213千円
軽度生活援助事業	2人		58千円
低所得者利用者(身体障害者)負担対策事業	2人		164千円
老人福祉施設入所措置	養護	19人	42,692千円
○馬頭総合福祉センターの管理運営			20,664千円
・施設利用者	15,597人		
○小川総合福祉センターの管理運営			23,126千円
・施設利用者	55,624人		
シルバー人材センター運営補助			5,000千円
○老人クラブ等社会活動推進事業			2,550千円

### 4 国民年金

高齢、障害によって生じた所得の喪失、減退に対しての経済的保障（所得保障）には、公的年金（国民年金）が必要であることを十分周知させるため、年金だよりの発行や「広報なかがわ」への掲載・有線テレビ等により普及推進を図り、また年金相談所を開設し、国民年金制度のPRに努めた。

拠出年金加入状況 被保険者数：4,844人(1号:3,844人、3号:1,000人)

### 5 児童福祉

#### (1) 保育園の運営

町立保育園（8か所）を運営し、施設設備の充実を図るとともに措置児童の保育

を行った。

児童数 302人(3歳未満児74人、3歳児55人、4歳以上児173人)

96,948千円

## (2)児童館の運営

児童館を運営し、行事等を通して心身共に健やかで、たくましく活動したり考える喜びを味わい、友達への思いやりや協力する心を養うことを目標とし、生活上の遊び方などの行事を行い、児童の健全育成に努めた。

利用者数 6,673人 2,469千円

## (3)放課後児童クラブの運営

下校後保護者等が家庭にいない小学校低学年児童に遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。

放課後児童クラブ運営事業 2箇所 36人 8,328千円

## (4)児童手当の支給

小学校修了前の児童を養育している方に対し、手当を次のとおり支給した。

被用者児童手当 延児童数 2,087人 19,385千円

非被用者児童手当 延児童数 1,462人 13,650千円

特例給付 延児童数 33人 295千円

被用者小学校修了前特例給付 延児童数10,365人 59,240千円

非被用者小学校修了前特例給付 延児童数 5,614人 32,725千円

小学校修了前特例給付 延児童数 221人 1,300千円

## 6 母子・父子福祉

母子家庭や父子家庭に対して、遺児手当を支給し、制度の周知徹底に努めた。

また、ひとり親世帯・小学校3年生修了前までのこども・妊産婦に対して医療費の助成を行い、対象者の健康増進及び福祉の向上に努めた。

遺児手当 8人 258千円

ひとり親家庭医療費助成 488人(助成1,569件) 4,595千円

こども医療費助成 1,177人(助成10,771件) 22,075千円

妊産婦医療費助成 83人(助成446件) 2,542千円

## 7 後期高齢者医療

平成20年度から後期高齢者医療制度が施行されることから、システムの改修事業等、趣旨普及に努めた。

○後期高齢者医療システム改修事業 11,550千円

○栃木県後期高齢者医療広域連合負担金 6,665千円

## 衛生費関係

### 1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は、最重要課題である。「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を、次のとおり実施した。

#### (1)健康づくり推進事業

日常生活の多様化に伴い増加する生活習慣病をライフスタイル改善で計画的に実践できるよう支援した。

メンバーズらくらく運動倶楽部	32回	500人
栄養改善及び健康増進	60回	2,410人
カトレア会	12回	276人
その他		
・「広報なかがわ」による啓発活動(食中毒予防等)	12回	
・「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回	150人

#### (2)成人病予防対策事業

老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため、老人保健法に基づく壮年期からの総合的な健康づくりを目的とした保健事業を実施した。

健康手帳の交付	12回	179人
健康教育	40回	794人
健康相談	58回	618人
訪問指導	随時	9人
基本健康診査	29回	4,167人
胃がん検診	29回	2,231人
子宮がん検診	12回	1,231人
乳がん検診	12回	1,298人
大腸がん検診	29回	2,849人
肺がん検診	29回	3,085人
前立腺がん検診	18回	1,084人
肝炎ウイルス検診	29回	35人
○骨粗しょう検診	12回	327人
歯周疾患検診	随時	47人
精神保健相談会	12回	19人

### (3) 母子保健対策事業

母子一体の健康管理を目指し、母子保健法に基づく衛生教育及び各種健診を実施した。

母子手帳の交付	随時	1 1 7 人
乳児健診（4か月・8か月）	1 2 回	1 8 3 人
1 2 か月児相談	6 回	1 2 5 人
1 歳 6 か月児健診	6 回	9 7 人
2 歳児相談	6 回	1 3 4 人
3 歳児健診	6 回	9 7 人
3 歳児精密健康診査		3 人
虫歯予防教室（フッ素塗布）	2 0 回	6 9 2 人
妊産婦一般健康診査		4 2 5 人
ひよこクラブ	2 9 回	1, 4 3 6 人
おかあさん塾	1 2 回	4 1 5 人
発達支援療育相談	3 回	1 1 人
○のびのび発達相談	1 0 回	1 3 7 人
乳幼児発達相談	6 回	2 9 人
○発達障害児事例検討会、研修会	3 回	4 8 人

### (4) 不妊治療費助成事業

保険が適用されない高額な不妊治療に対し、経費の一部を助成する不妊治療助成事業を実施した。

随時 4 人

### (5) 結核及び伝染病予防対策事業

結核及び各種伝染病の発病予防及び患者の早期発見を図るため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。

結核	B C G 接種	9 0 人
予防接種	ポリオ	2 1 2 人
	麻しん・風しん混合	2 0 7 人
	麻しん	1 人
	風しん	1 人
	二種混合	1 8 9 人
	三種混合	4 3 9 人
	インフルエンザ	4, 1 7 5 人

### (6) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

対象地区：大内・大那地・小砂 1 8 回 1 2 2 人



## 2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

### (1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

#### ○廃棄物内訳

・可燃ごみ	4, 366 t
・不燃ごみ	316 t
・資源ごみ	911 t
・粗大ごみ	118 t
・有害ごみ	8 t

資源ごみ内訳	・スチール缶	53 t
	・アルミ缶	28 t
	・ペットボトル	43 t
	・びん類	220 t
	・紙類	491 t
	・布類	76 t

#### ○搬入内訳

・委託業者収集搬入	4, 729 t
・直接搬入	990 t

### (2) 畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○登録	131頭
○予防注射	1,046頭
野犬・不用犬(猫)引取り	118(26)頭

### (3) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置に対し補助を行った。

○補助件数	51件	20,445千円
-------	-----	----------

## 3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

#### 4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1) 河川の水質検査の実施 (37ヶ所)

(2) 騒音、悪臭等の防止対策

(3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4) 北沢地区不法投棄物処理対策

県との間で「馬頭最終処分場に関する基本協定」締結(平成20年2月12日)

環境と共生するまちづくりを推進するため、町と県の関係各課で構成する「那珂川町地域整備推進連絡会議」を開催した。

○地域振興等の調査・研究を行った。

- ・環境整備推進会議 3回
- ・環境整備推進会議幹事会 2回
- ・視察 2回(笠間市、日の出町・三多摩地区廃棄物広域処分組合)

相談窓口の開設 32回

〔	4月～9月	毎週水曜日
	10月～3月	毎月第1水曜日
〕		

## 農林水産業費関係

### 1 農業委員会

農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を進めるため、関係機関に対して建議要望を行った。

農業者年金関係では、新制度の普及のため、同じ業務委託を受けるJAと合同による加入促進対策会議、制度説明会を開催するとともに、戸別訪問等による加入促進を図った。

町農業青色申告会とともに、関係機関と連携のもと、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び青色申告制度の普及を推進した。

農地法関係事務では、毎月農業委員会総会を開催し、許認可事務を行うとともに利用関係の調整や農地の流動化を積極的に推進した。

農地法3条(農地等の権利移動)	52件	310筆	33.30ha
○農地法4条(自己農地の転用)	5件	5筆	0.40ha
農地法5条(転用のための設定・移転)	42件	45筆	2.55ha

## 2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、農地・水・環境保全向上対策事業、農業担い手の育成などを中心に事業を行った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 14集落 緩傾斜地 56集落	26,962	
農地・水・環境保全向上対策事業	農地水環境保全の良好な保全と質的向上の共同作業 取組集落 6集落	3,548	総事業費13,290
使用済農業生産資材適正処理推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬袋等の処理	454	総事業費2,001
遊休農地再生活動支援緊急対策事業	遊休農地の実態調査	1,007	
食育体験実践事業	農業・料理体験を通じて食育の推進(11小学校)	1,100	
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	183	総事業費1,211
町単生産調整推進対策事業	麦・大豆等作付拡大への助成	355	
水田農業構造改革モデル条件整備事業	土地利用型生産組織の育成 機械の購入	1,450	総事業費5,700
いきいき世代のとちぎ田舎暮らし支援事業	団魂世代等の交流人口増加や地域の活性化の推進	701	
住民参加型鳥獣防護対策実践モデル事業	鳥獣害防止柵の設置	950	総事業費1,900

## 3 畜産振興事業

畜産振興については、JA那須南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病の予防対策事業	4,325	
畜産担い手育成総合整備事業	用地測量、飼料畑整備2.5ha、牛舎整備1棟、貯蔵施設1棟	9,507	内繰越明許分 8,866

#### 4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、農道整備、かんがい排水、ほ場整備事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業	谷田地区農道整備事業 測量設計一式、舗装新設L=427m W=3.5m	9,000	
	入の内地区ほ場整備事業 換地業務2.0ha	1,800	総事業費2,000
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	36,092	
町単農村振興事業	一丁田地区水路整備事業	146	総事業費 291
	矢又台地区農道整備事業	286	" 571
	和見中津原地区農道整備事業	102	" 204
	藤沢地区ため池整備事業	500	" 1,008
	谷川地区ため池整備事業	186	" 372
	大内光崎地区排水施設整備事業	126	" 252
県営農業農村整備事業	農業用河川工作物応急対策事業 (三川又地区)	13,875	総事業費157,500

#### 5 中山間地域総合整備事業

中山間地域の農業生産基盤、生活環境整備のため、圃場整備、農道・集落道整備等を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
南部地区中山間地域総合整備事業	関沢地区農道整備事業 用買補償一式	7,860	
	割田地区ほ場整備事業 換地業務一式	2,770	
	仲組地区集落道整備事業 測量設計一式	3,170	
	松野地区かんがい排水事業 隋道工L=92.1m	11,930	
	菩提下地区ほ場整備事業 換地業務一式	140	

	仲郷台地区暗渠排水事業 暗渠排水 L=373.7m	840	
	上沼倉地区ほ場整備事業 換地業務一式	90	
	前山押野線集落道整備事業 改良L=275.2m W=5.0m	40,280	
	計画書作成事業	2,920	

## 6 林業振興事業

- (1) 松くい虫防除事業により、地上散布、衛生伐を行い森林病虫害の徹底防除に努めた。
- (2) 林道の維持管理を実施するとともに、経営作業道整備事業により支線である作業道を開設し、間伐等森林整備を推進した。
- (3) 林道施設の利用促進を積極的に図った。
- (4) 八溝産材の需要拡大を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松くい虫防除事業	地上散布 3.1ha	302	
	衛生伐208.5m <sup>3</sup>	2,293	
森林整備地域活動支援交付事業	森林整備地域活動支援交付金の交付 28協定1.772ha	8,610	
県単林道事業	林道鶴居峠御前岩線改良工事	861	
	林道沼沢線改良工事	578	
森林路網整備事業	作業道開設3路線L=1,600m	1,022	総事業費1,460
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助13件	3,726	

### 林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	1,599人	
観光乗馬施設（ホースランド）	1,159人	
県産材利用宿泊施設（ペンションひろせ）	772人	

## 商工費関係

### 1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

#### (1) 商工会の支援

補助金の交付	馬頭商工会	9,430千円
	小川商工会	6,467千円

#### (2) 中小企業振興資金融資状況

新規貸付件数	63件	227,280千円
信用保証料補助額	81件	5,609千円
特定中小企業者認定	6号	128件
	7号	2件

### 2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝、及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

#### (1) 観光関連団体への補助

・那珂川町夏まつり実行委員会	4,500千円
・小川地区山車保存会	300千円
・馬頭町観光協会	6,300千円
・小川観光協会	1,260千円
・馬頭温泉保護開発協会	900千円

#### (2) 主な観光施設の利用状況（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	2,448人	
町営温泉浴場・定住センター	63,907人	
観光センター	670,000人	推計値
ふるさとの森公園	9,167人	
カタクリ山公園	37,500人	

### 3 消費者行政

苦情処理相談事項として架空請求、キャッチセールス等に関するものが3件、苦情処理あっせん事項として県消費生活センターへの紹介を数件実施し、被害拡大防止のためCTB等を通して広報活動を実施した。

また、サラ金等の多重債務者相談窓口を設置し、相談に当たった。(相談件数3件)

### 4 開発推進

栃木県工業団地連絡協議会等を通し、企業誘致活動を行った。また、積極的に企業誘致を図るため、町内企業等を対象に工場跡地等未利用地調査を実施した。

## 土木費関係

### 1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしているため、都市間を結ぶ主要幹線道路である国道や県道の整備を関係機関に要望するとともに、地域間の主要幹線道路や生活道路の整備をした。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
道路改良舗装	大山田立野線	改良・用地・補償一式 L=110.0m W=5.0m	53,183	
	本町舟戸線	改良・補償一式 L=409.4m W=9.25m	51,711	
	白久上の原3号線	路線測量・道路設計・ 用地測量一式	4,620	
	三輪片平線	平面図作成一式	945	
	小砂矢倉線 谷田町営住宅線	平面図作成一式	3,234	
	日向線	改良 L=140.0m W=5.0m	28,901	

### 2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(大山田上郷 地区、谷川 地区、馬頭I地区)を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 大山田上郷Ⅵ A=1.50km <sup>2</sup> 谷川 A=0.34km <sup>2</sup> 馬頭Ⅰ A=0.15km <sup>2</sup>	20,948	
	複製図作成・数値情報化 舟戸・小川・谷川Ⅱ・大山田上郷Ⅴ 123枚	1,208	

## 3 都市計画

市街地の景観形成と安全な住環境整備のため街なみ環境事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
街なみ環境整備事業	街路灯設置 32基 街なみ修景補助金(看板) 30件	36,325	

## 4 公園

公園は、地域住民に憩いと安らぎを提供し、景観の形成に大きく寄与しているため、適正施設の管理、環境の美化を推進し、住民から親しまれ、利用しやすい公園の整備管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
馬頭公園整備事業	公園整備 A=2.85ha	4,494	

## 5 住宅計画

住宅の老朽化が進んできているため、長寿命化の工事を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松ヶ丘住宅屋根防水工事	7号棟屋根防水 A=147.0m <sup>2</sup>	2,730	
富士山住宅ボイラー修繕工事	ボイラー取替 1台	342	



## 消 防 費 関 係

### 1 火災の概況

平成19年度中の那珂川町における出動件数は10件で、前年度に比較して6件の増であった。

#### 主な火災

発生日	場所等
7月11日	田町地内建物火災（店舗・住家）
8月21日	谷田建物火災（住家）
9月 3日	富山地内建物火災（住家）
10月29日	上西の原地内建物火災（住家）
12月27日	大山田下郷地内その他の火災（自動販売機）
2月18日	田町地内その他の火災（原野）
2月21日	健武地内林野火災（山林）
3月 4日	白久地内建物・林野火災（原野）
3月 5日	片根地内その他の火災（原野）
3月22日	松野地内林野火災（林野）

### 2 消防施設等の整備

#### 消防自動車

消防ポンプ自動車（CD-1型）	1台	第2分団第2部（矢又）に配備
小型動力ポンプ積載車	1台	第5分団第3部（富山）に配備

### 3 消防団点検・訓練関係

#### ○点検

6月24日	珂川町消防団夏季点検	出場率	73.6%
10月28日	那珂川町消防団通常点検	出場率	71.4%

#### 訓練

8月26日	那珂川町消防団・県消防防災航空隊合同訓練
-------	----------------------

# 教育費関係

## 1 学校教育

### (1) 小学校・中学校

県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題とし、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。また、馬頭町立学校検討委員会の答申により、4小学校の統廃合を推進した。なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

小学校児童通学費補助	2, 771千円
小学校教育用コンピュータ機器借上	6, 888千円
小学校教材備品費	3, 103千円
小学校就学援助費	3, 170千円
総合学習推進費	1, 260千円
○中学校生徒通学費補助	660千円
中学校教育用コンピュータ機器借上	5, 261千円
中学校教材備品費	2, 944千円
中学校就学援助費	2, 131千円
外国語指導助手設置費	4, 158千円
○小川地区小中学校エアコン設置工事 (小川小・薬利小・小川中職員室：設監費含)	5, 523千円
○馬頭中学校校舎・屋内運動場耐震診断業務(2次)【繰越明許】	11, 928千円
○馬頭中学校校舎耐震補強改修工事設計業務【繰越明許】	13, 083千円
○馬頭中学校屋内運動場耐震補強工事設計業務【繰越明許】	3, 150千円
小中学校教職員用パソコン購入	20, 422千円
小中学校パソコン設定業務	2, 289千円
スクールバス(46人・1台)購入	12, 172千円
○スクールバス(29人・2台)購入	15, 582千円
○スクールバス(15人・1台)購入	2, 713千円
○薬利小アスファルト工事	703千円
○小学校統廃合準備費	5, 594千円
○中学校統廃合準備費	4, 513千円

## (2) 幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努力した。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設設備の整備と教育環境の充実を図った。

### ○ひばり幼稚園

園児数 87名（3歳児24名、4歳児29名、5歳児34名）

### ○小川幼稚園

園児数 64名（3歳児17名、4歳児22名、5歳児25名）

## (3) 学校給食センター

本年度より、学校給食センターと小川学校給食センターが統合し、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

### 給食実施状況

- ・ 小学校11校、中学校3校、幼稚園2園、児童生徒職員数1,989人
- ・ 完全給食 給食実施回数196回（うち米飯114回）

給食実施総食数 361,551食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

### 給食センター改修工事

学校給食センターの統合に対応し、昨年度に引き続き改修工事を実施するとともに調理機器の入れ替えを行った。

学校給食センター第2期改修工事【繰越明許】 78,330千円

学校給食センター第2期改修工事監理業務委託【繰越明許】 2,877千円

○大型蒸し器・球根皮剥機入替 4,515千円

## 2 社会教育

生涯学習社会へ適切に対応するための条件整備と町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境づくりの形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成をねらいに学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民の活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努め、さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を高めることをねらいに地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

### (1)生涯学習

行政と住民が一体となって生涯学習を推進するため、行政、地域、民間団体等で学習・地域活動の連携、協力のあり方について検討を行った。

また、生涯学習の理解と啓蒙を図るために「生涯学習振興大会」を実施した。

### (2)青少年教育

青少年が社会への参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。さらに、青少年育成団体の育成と活動の推進を図るために研修会、交流事業の開催に努めた。

ジュニアボランティアズクラブの育成と活動

○明日を築くよい子の集いの開催

○成人式の開催

### (3)成人教育

家庭教育学級、幼児家庭教育学級を開設し、家庭教育の重要性について理解を深め、加えて家庭での実践を促すために研修会を開催した。また、親子ふれあいコンサートを開催し家庭教育の推進を図った。

### (4)高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」馬頭校・小川校を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

### (5)公民館活動

馬頭・小川公民館では、家庭生活の知識、技術の習得をねらいに、すくすくクラブ、放送利用講座を開催した。さらに、親子わくわく塾を開催し、体験活動を通して親子のふれあいの機会を設けることに努めた。

小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 669件 利用人数 7,041人

### (6)国際理解・国際交流活動・語学教育

国際化社会に対応できる人づくりを目的に国際交流員を招致し、地域レベルでの国際交流と国際理解活動を展開した。さらに、保育園、幼稚園、小・中学校での国際理解学習の機会を提供するために各学校等に国際交流員を派遣した。

国際交流事業としては、青少年海外体験派遣事業、ホームステイウィークエンド事業、ホースヘッズ村交流事業等を実施した。

### (7)文化芸術活動

○文化芸術の振興

○文化財保護事業

○子どもの森の管理

(8)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入 館 者 数
4月20日～6月3日	特別展 棟方志功 －「版画」への挑戦	8,036人
6月8日～7月8日	保永堂東海道から豎絵東海道（前期）	2,973人
7月12日～8月19日	保永堂東海道から豎絵東海道（後期）	3,216人
8月23日～9月24日	美人画の変遷－これぞ江戸美人画だ－	3,243人
9月29日～10月28日	特別展 初代広重と二代広重の諸国名所絵 －六十余州名所図会と諸国名所百景（前期）	3,287人
11月1日～12月2日	特別展 初代広重と二代広重の諸国名所絵 －六十余州名所図会と諸国名所百景（後期）	3,979人
12月7日～1月20日	川上澄生 アコガレの軌跡（前期）	2,187人
1月25日～3月2日	川上澄生 アコガレの軌跡（後期）	2,243人
3月6日～4月13日	美人花くらべ －風俗画家 尾形月耕の世界－	2,574人
合 計	特別展3回、企画展6回	31,738人

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 覧 会 名	観 覧 者 数
5月1日～5月6日	はがき絵展示	730人
7月31日～8月12日	2007年 はな・花写真展	849人
10月10日～10月28日	わくわくはんこ展覧会	325人
11月1日～11月8日	写友 那珂川写真展	419人
11月16日～11月25日	押し花展	1,197人

12月16日～12月23日	二人展	185人
1月3日～1月9日	日光彫展	173人
2月16日～3月11日	第3回那珂川町学生版画コンクール 入選作品展示	557人
合計	8回	4,435人

○調査研究・教育普及活動

- ・初代広重と二代広重の諸国名所絵図録の発刊
- ・初代広重と二代広重の諸国名所絵展記念講演会の開催
- ・ミュージアムトークの開催（随時）
- ・ワークショップの開催 4回
- ・第3回那珂川町学生版画コンクール 応募数 924点

(9)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図ることをねらいに常設展を開催した。

○古文書入門講座の開催

(10)山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。また、行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 511件 利用人数 4,049人

(11)図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

図書館奉仕業務の充実

図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

(受入冊数2,750冊)

視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

教育・保育機関等への団体貸出の促進

○「那珂川町子ども読書活動推進計画」の策定(H19・H20)

国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進  
 図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)  
 ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実  
 年間利用状況

- ・登録者数 2, 689人
- ・図書貸出冊数 92, 267冊

文化事業の開催と文化活動の推進

主な事業は、次のとおり

- ・お話し会 幼児～小学生対象 38回 497人
- ・読書会 全町民対象 24回 163人
- ・ブックスタート 乳幼児・保護者対象 6回 82組
- ・幼稚園児の図書室利用 年長児及び年中児 25回 564人
- ・工作教室 幼児～小学生対象 2回 28人
- ・親子読書教室 幼児・保護者対象 2回 130人
- ・文芸講演会 小川中生徒・PTA 1回 約260人

(12) なす風土記の丘資料館管理運営受託事業

史跡・資料等の適切な保存を図り、これらを広く県内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てていきたいと考え、小川館・湯津上館ごとのテーマに沿った関係資料の収集・展示を行うほか、各種展示会や体験講座などを開催した。

○展示会関係

会 期	展 示 会 名	場 所	入 館 者 数
4月14日～6月24日	第16回特別展「那須官衙遺跡とその周辺」	湯津上館	2, 861人
7月3日～9月2日	夏休み小中学生向け展示会 「那須の発掘物語-古墳は語る-」	小川館	1, 902人
9月22日～11月25日	第15回企画展「川でつながる縄文人 -交流と交易から見た那須-」	湯津上館	1, 279人
12月1日～1月27日	冬休み小中学生向け展示会 「子を考古学する」	小川館	641人
2月2日～3月16日	巡回展「栃木の遺跡 -最近の発掘調査の成果から-」	小川館	933人

○展示会関連行事

実施日	行 事 名	場 所	参加者数
5月20日	特別展記念講演会	小川館	40人
5月20日	特別展ギャラリートーク	湯津上館	30人
6月 3日	春の史跡見学会	茨城県方面	76人
7月 7日	勾玉・管玉づくり+瓦の拓本、うちわづくり	小川館	21人
7月22日	縄文土器づくり	小川館	26人
7月29日	縄文土器づくり2	小川館	29人
8月 4日	産金体験	大内川	15人
8月19日	土器焼成	小川館	40人
9月22日	丸木舟体験	大桶運動公園	23人
10月21日	秋の史跡見学会	福島県方面	64人
10月28日	企画展記念講演会、シンポジウム	あじさいホール	141人
10月28日	企画展展示解説	湯津上館	35人
11月 4日	那珂川ウォーク	なす風土記の丘周辺	53人
12月 2日	古代文字講座	小川館	27人
12月16日	年賀状づくり	小川館	5人
3月 2日	遺跡発表会	小川館	62人

○普及啓発活動

出前授業として県内各所から依頼を受け、講義を16回、体験教室を16回実施したほか、この地域の歴史を学び展示解説等の補助として活かす歴史解説員養成講座を全10回行った。



### 3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

#### (1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体育施設	総合体育館	323	41	14,041
	馬頭西体育館	125	13	3,408
	小川体育館	276	25	21,960
	馬頭武道館	249	4	2,101
	小川武道館	244	2	1,248
	小川弓道場	25	1	175
	御霊神社弓道場	—	—	—
	馬頭運動場	246	15	5,475
	武茂運動場	—	—	—
	大山田下郷運動場	3	1	120
	小川運動場	254	12	13,185
	小川那珂川運動場	64	1	384
	小川庭球場	19	6	158
	馬頭水泳プール	33	—	1,525
	小川水泳プール	35	—	1,307
	合 計		1,896	121
夜間照明	馬頭運動場	166	6	2,170
	武茂運動場	120	1	3,600
	大山田下郷運動場	188	3	3,720
	小川運動場	329	8	8,885
	小川庭球場	254	8	2,093
	大内小運動場	62	3	2,500
	小川南小運動場	294	5	7,310
	合 計		1,413	34

学 校 施 設	馬頭小学校	校庭	2	1	550
		体育館	60	1	1,500
	健武小学校	校庭	—	—	—
		体育館	240	1	2,160
	武茂小学校	校庭	132	1	1,584
		体育館	148	5	1,331
	谷川小学校	校庭	—	—	—
		体育館	1	1	50
	大内小学校	校庭	60	1	2,520
		体育館	1	1	40
	大山田小学校	校庭	16	1	800
		体育館	—	—	—
	小川小学校	校庭	293	3	16,770
		体育館	39	2	600
	葉利小学校	校庭	7	1	1,050
		体育館	157	3	4,760
	小川南小学校	校庭	8	1	2,000
		体育館	1	1	50
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	181	1	1,807
馬頭東中学校	校庭	—	—	—	
	体育館	—	—	—	
小川中学校	校庭	10	1	1,500	
	体育館	12	1	1,028	
合 計	校庭	528	10	26,774	
	体育館	840	17	13,326	

(2) 社会体育活動の推進 (各種体育行事の開催状況)

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・柔道 ・サッカー ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・町民ハイキング ・あるけあるけ大会 ・ゆりがねマラソン大会	46	98	6,450
各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	3	3	165

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(26 専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31 支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

・スポーツクラブ	159 団体	2,091 人
・スポーツ少年団	14 団体	229 人

(4) スポーツの普及活動

- スポーツ講習会の開催
- スポーツ傷害保険の加入促進
- スポーツカレンダーの発行

## 災害復旧費関係

1 農林水産施設災害復旧事業

平成19年7月、8月、9月の集中豪雨により被害を受けた農林水産施設について災害復旧事業を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業 (繰越明許分)	施設1件	4,200	国庫支出金 3,994
農地・農業用施設災害復旧事業 (町単独災害復旧事業分)	農地9件 施設4件	2,188	総事業費 5,630
合	計	6,388	

# 平成19年度主要施策の成果（特別会計）

## 国民健康保険事業

平成20年4月からの医療制度改正に向け、特定健診と特定保健指導の導入に対応するための、国保連合会とのネットワーク構築、新しい高齢者医療制度に対応する電算システムの改修等を行った。

保健事業においては、人間ドックなどの事業を通して、生活習慣病の早期発見、早期治療といった被保険者自身の意識の高揚と国保運営の健全化に努めた。

### 1 療養の給付等

療養諸費用額負担の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担金	一部負担金	他法負担金	
						他法優先	国保優先
一般被保険者	療養の給付	55,340	1,145,597	843,118	289,543		12,936
	療養費	1,433	12,396	9,142	3,254		
	計	56,773	1,157,993	852,260	292,797		12,936
退職被保険者等	療養の給付	19,144	331,265	255,546	73,987		1,733
	療養費	390	3,654	2,921	733		
	計	19,534	334,919	258,467	74,720		1,733
合計		76,307	1,492,912	1,110,727	367,517		14,669

### 2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

出産育児一時金	27件	9,450千円
葬祭費	178件	8,900千円
高額療養費	一般 1,258件	96,428千円
	退職 278件	17,381千円
	計 1,536件	113,809千円

### 3 国保世帯数、被保険者の状況

平均世帯数	4,001世帯
平均被保険者数	9,150人

#### 4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策として、次のとおり実施した。

山の家利用助成	1, 761件
医療費通知	16,066通（6回実施）
人間ドック	218名

### 老人保健事業

老人の適切な医療の確保を図るため老人保健法に基づく医療給付を実施した。

医療給付費	73,034件	1,749,902千円
医療費支給費	2,981件	34,163千円

### 介護保険事業

第3期介護保険事業計画(H18～20年度)の2年度に当ることから、介護保険制度の更なる周知に努めた。また、介護予防事業の充実に努めた。

#### 1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成19年度末現在5,559人（特別徴収5,136人普通徴収423人）であり、保険料徴収額は、175,485千円であった。

#### 2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請及び更新は、1,047件であり、これらを調査(一部委託)したのち、認定事務については、南那須地区広域行政事務組合に委託した。なお、平成19年度末の認定者数は817人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数（平成19年度末）

(単位：人)

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	19	75	0	149	154	176	132	85	790
2号被保険者	0	2	0	6	9	3	2	5	27
計	19	77	0	155	163	179	134	90	817

### 3 利用及び給付状況

介護給付利用の総件数は20,717件、給付費総額は958,618千円で、その内訳は次のとおりである。

居宅介護サービス給付費	8,099件	358,344千円
地域密着型居宅介護サービス給付費	322件	22,289千円
施設介護サービス給付費	1,909件	451,903千円
(内訳)		
介護老人福祉施設	1,213件	279,954千円
介護老人保健施設	657件	158,081千円
介護療養型医療施設	39件	13,868千円
居宅介護福祉用具購入費	35件	819千円
居宅介護住宅改修費	15件	1,857千円
居宅介護サービス計画給付費	4,602件	46,816千円
介護予防サービス給付費	522件	12,977千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	6件	202千円
介護予防福祉用具購入費	8件	159千円
介護予防住宅改修費	5件	542千円
介護予防サービス計画給付費	435件	1,822千円
高額介護サービス費	1,366件	14,178千円
高額介護予防サービス費	3件	2千円
特定入所者介護サービス給付費	1,480件	46,704千円
○特定入所者介護予防サービス費	1件	4千円

### 4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

#### (1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

##### 特定高齢者把握事業

生活習慣病健診事後指導時に体力測定、個別相談等を実施し、特定高齢者の把握を行った。

・生活習慣病健診事後指導(65歳以上) 29回 893人

##### 通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向

上」を目的とした介護予防教室を実施した。

・前期教室	15回	延225人
・後期教室	15回	延285人
・転ばん運動教室（継続）	12回	延144人

#### 訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会の実施と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

・高齢者精神保健相談会	12回	16人
・保健師による訪問指導		25人

### (2) 介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

#### 介護予防普及啓発事業

各単位老人クラブ会員を対象に転倒予防のための運動指導を実施した。

・那珂川おたっしや会	32回	488人
------------	-----	------

#### 地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

・ボランティア研修会	2回	延20人
・介護予防教室への協力	42回	延333人

### (3) 介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

特定高齢者介護予防プラン作成 52人

要支援1・2の者の居宅介護予防支援 延450件（内委託190件）

### (4) 総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数	延488件
高齢者虐待対応	10件
○高齢者実態把握	424件

### (5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

事例検討会の開催 7回

(6)任意事業

地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：296時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：5回 参加者：延128人

寝たきり老人等介護手当等の支給

- ・寝たきり老人等介護手当 135人 5,985千円
- ・おむつ手当 114人 5,415千円

地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成20年3月28日

## 下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

馬頭処理区については、供用開始区域の加入促進を図った。

概要については、次のとおりである。

(1)整備事業（馬頭処理区）

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事 L=1,333.4m (硬質塩化ビニル管 150, 200)	66,119	国庫補助金 52,770
	付帯工事	2,438	

(2)施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	81.6	84
処理区内人口	人	1,554	2,873
処理人口	人	338	2,397



水洗化率	%	21.8	83.4
接続戸数	戸	141	823
年間処理水量	m <sup>3</sup>	48,874	303,797
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	134	832
年間汚泥脱水ケーキ量	t	—	264.3

## 農業集落排水事業

農業用用水の水質保全、環境の改善等を図り、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	493	357
処理人口	人	475	306
水洗化率	%	96.3	85.7
接続戸数	戸	134	86
年間処理水量	m <sup>3</sup>	79,224	28,415
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	217	78
年間汚泥引抜量	m <sup>3</sup>	170	216

## 簡易水道事業

簡易水道事業として設置されている8施設における水道水の安定供給および施設能力の維持管理に万全を期した。

工事関係では、上西原地内配水管布設工事のほか、白久地内配水管布設替工事を実施した。

平成19年度末における那珂川町簡易水道事業の概要は、次の通りである。

項 目	小 砂 区	富 山 区	矢 又 区	大 那 地 区	中 部 区	北 部 区	南 部 区	西 部 区	計
給水人口 (人)	1,337	421	272	182	3,786	1,163	1,479	250	8,890
給水戸数 (戸)	386	111	81	54	1,356	345	448	70	2,851
年間総配水量 ( $m^3$ )	110,881	28,467	22,756	9,574	437,942	108,183	132,851	19,893	870,547
年間総給水量 ( $m^3$ )	91,978	23,834	19,224	8,349	356,067	90,933	111,420	16,897	718,702
有収率(%)	82.95	83.73	84.48	87.20	81.30	84.05	83.87	84.94	82.56
1日平均配水量 ( $m^3$ )	303	78	62	26	1,197	296	363	54	
1日平均給水量 ( $m^3$ )	251	65	53	23	973	248	304	46	
1人1日当り平均配水量 ( $l$ )	227	185	229	144	316	254	245	217	
1人1日当り平均給水量 ( $l$ )	188	155	193	125	257	214	206	185	

## ケーブルテレビ事業

放送センターの維持管理を図るとともに、地域情報としての自主放送番組の提供と充実  
に努めた。また、町内全域において、地上デジタルテレビ放送への対応や高速インターネット通信網、誰でも簡単に使える情報通信端末の整備等、放送・通信環境及び行政情報基盤の整備を行うため、ケーブルテレビ高度化事業を推進している。

### 1 放送センターの管理運営

- 加入世帯数 3, 2 1 1 世帯 (8 2 . 8 %)
- 新規加入 7 件
- 有線テレビ使用料収入 3 9 , 0 2 1 千円
- 主な施設工事
  - ・公共事業に伴う移設工事 9 , 1 9 6 千円 (1 7 件)
  - ・映像不良・東電柱立替等による工事 1 0 , 7 9 5 千円 (1 0 8 件)

○主な自主制作番組

- ・ニュースポケット 収録 87回 放送150時間/月
- ・わんぱくごっこ 6回 3時間
- ・CTBピックアップ 18回

○録画中継番組

- ・町議会定例会・臨時会 7回

○特別企画番組

- ・ニュースダイジェスト（上半期・下半期）
- ・新春インタビュー（町長・議長・教育長）

○その他の番組

- ・県政ピックアップ・キッズステーション(CS：10月まで)・ニコロデオン(CS：11月から)
- ・グリーンチャンネル・NHKエンタープライズ(教養娯楽番組)
- ・サイエンスチャンネル(THE MAKING他)

2 ケーブルテレビ高度化事業

(1)全体

- ・広報やパンフレット、ホームページ、パネル展示等で事業の普及に努めた。
- ・説明会、戸別訪問等を行い、加入促進に努めた。

(2)馬頭地区の主な事業は、次のとおりである。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
馬頭地区ケーブルテレビ施設整備事業	伝送路設備工事(第2期) 幹線光ケーブル L=55.8km	66,422	繰越明許費
	伝送路設備工事(第3期) 幹線光ケーブル L=18.3km	23,950	繰越明許費
	第1期工事 幹線同軸ケーブル L=321.3km センター設備一式	780,131	
	第2期工事 自主放送設備一式	106,980	
	電線地下埋設工事 L=227.8m	928	
	設計監理業務委託	5,706	内繰越明許費1,926
	電柱移転補償費	7,140	内繰越明許費 289
	工事雑費	2,339	内繰越明許費1,011

(3)小川地区の主な事業は、次のとおりである。

○実施設計業務委託（H18繰越）一式	21,000	千円
○共架申請書作成業務委託一式	11,235	千円
○電柱移転補償費一式	2,737	千円